

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kきっずとちぎ		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 15日		～ 令和7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 10日		～ 令和7年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団で過ごすことにより、集団生活のスキルアップ向上が期待される	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールを立て可視化し見通しを立てる ・ルールのある集団活動を取り入れる ・学校と同じ机と椅子を使用し環境を整える ・お話しタイムを取り入れ落ち着く時間を取り入れる ・イベントを企画する 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容やイベント内容の充実 ・イラストの可視化を増やす ・整理整頓をし環境を整える
2	保護者様との情報共有や関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・コノベル(れんらくアプリ)や電話、SNSの活用 ・相談支援専門員や他事業所、学校などの関係機関との連携 ・積極的な担当者会議の出席 ・個別支援計画に基づいて行われるモニタリングや保護者様からの相談、助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間での情報共有の徹底 ・学校の担任との連携を積極的に行う
3	庭や講堂で発散して帰宅できる	<ul style="list-style-type: none"> ・心拍数上がる活動を取り入れ、ストレス発散、運動能力の向上を目指す ・発散や体力消耗により、帰宅後の食事や睡眠などの生活リズムを整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しかった」と思える内容の療育を心がける

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル(緊急時、感染症など)や広報、ホームページなどの周知	<ul style="list-style-type: none"> ・コノベル(れんらくアプリ)の活用が不十分 ・マニュアルの通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様にコノベルの活用方法を記載したお知らせを配布するなどの取組み ・保護者様向けの案内作成(緊急時、感染症など)
2	利用児の年齢層の幅が広い為、集団活動の内容が固定してしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で同じ活動を取り組む時、活動内容と配置と支援内容がうまくいくための、スタッフのスキル不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの知識向上と支援の質の向上のために、研修や部会に参加したり、事業所内で学び合う
3	避難訓練などの取り組みの報告	<ul style="list-style-type: none"> ・コノベル(れんらくアプリ)の活用が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様にコノベルの活用方法を記載したお知らせを配布するなどの取組み

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Kきっず とちぎ

公表日 R7年 3月 15日

利用児童数 1名

回収数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					1	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					1	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					1	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Kきっず とちぎ		公表日	令和7年 3月 15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・安全なスペース確保を考慮した机の並びにしている。 ・取り組む内容によって部屋をわけている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・配置をきちんと守った対応をしている。 ・必ず利用児が1人にならないよう配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・イラストや平仮名を使用した可視化をしている。 ・指差しで意思表示ができるように、届く所に設定している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・その日の利用開始前に掃除の徹底をしている。 ・必要最小限の物の設置をすることで、過ごしやすい環境づくりをしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・一部屋は個別で対応できる部屋を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・職員間で共有し、みんなで改善を目指している。 ・業務会議を行っている。	・現状維持を大切にしつつ、更なる向上を目指した視点で取り組んでいく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者アンケートを実施。事業所で評価について話し合い、強化と改善に向けて取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・朝礼を行い意見交換を毎朝行っている。 ノートに記入し共有。改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・第三者の設置はしている。	・第三者からの意見を聞き、強化と改善に活かせるようにする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・事業所内ではリタリコ動画研修、法人では部会による研修を開催。必要に応じて外部研修にも参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・ホームページで公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・児童発達支援管理責任者がモニタリングを行い計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・事業所内でケア会議を行い分析し支援内容を検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・保護者にサインをもらった後に、スタッフで共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・個別支援計画をもとに、個々に合わせた課題の提供。	・同じ課題を取り組むことで強化につながるが、バリエーションをもっと増やし経験値をあげていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・個別支援計画に記載。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・毎日、利用児に合わせたスケジュールを相談して決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・利用児が同じ活動が続かないように配慮をしている。	・活動プログラムの種類を増やし経験値をあげていく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・課題や宿題の取り組みでは個別活動として対応。集団活動を必ず取り入れて支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・毎朝朝礼を行っている。内容を記録し、連携を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・管理者に報告。記録を取る。次の日の朝礼で共有や支援について話し合う。	・報告の時に些細なことも記録に残すことを徹底する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・コノベル活用。保護者に支援内容を報告している。 ・スタッフ間の共有、検討が必要な時は会議を開き支援内容の検討をし記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・児童発達支援管理責任者が半年に1回はモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児童発達支援管理責任者が会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・必要に応じて連携を図り、共通支援ができるようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・情報共有をし支援をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・情報共有をしてスムーズに移行できるように支援をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7		・積極的に連携を図るようにする。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		・児童館を利用している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・コノベルでその日の様子を報告している。 気になることは、その都度話す機会を設け対応している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・相談は随時受けて対応をしている。	・家族支援プログラムは取り組んでいない。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・モニタリングの際は、保護者や利用児の気持ちを尊重するようにしている。 ・十分に話を聞く時間を設けて対応している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・毎月15日にホームページの更新。3か月前にイベントの周知を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・親子イベントの開催を通し、保護者が顔を合わせ話ができる場の提供をしている。	・事業所内のイベントが中心になっているので、保護者やきょうだいの交流の場も検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情解決責任者を設け対応をしている。玄関には、ご意見箱も設置している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月15日にホームページの更新。3か月前にイベントの周知を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・写真は同意書を発行し徹底をしている。個人情報に繋がる物は、全てシュレッダーをしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・メールやメモで可視化して伝える。 ・わかりやすいように、ゆっくり伝える。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・「まちなかの小さな展覧会」イベントを開催。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・マニュアルを職員間で共有。コノベルで保護者への周知をしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・毎月、業務会議と避難訓練を実施。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・契約時に保護者から情報提供をもらい、職員間で共有している。 ・服薬も変更のたびに随時共有をしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			・保護者からの情報提供のみなので、指示書の提出をお願いし、アレルギーに十分気を付ける。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・毎月、安全点検日も設け、危険箇所がないかを確認し対応している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・避難についてコノベルで周知し対策を取っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハット報告作成、共有と検討をし対策を取っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止委員会による部会。社内研修。日頃から虐待防止に努めている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・契約時にも説明、個別支援計画作成時にも説明をし承諾をいただいている。		